

監査計画



- 01 ビデオ会議の利用やパワーポイントなどの視覚資料を活用した、リモート監査の計画会議を実施する。
- 02 組織が記録を保管しているデジタルファイルシステムへのアクセス権の入手。または、監査期間中に限った一時的なアクセス権の付与を得る。
- 03 データ分析ツールを活用して、入手したデータからリスク兆候を分析する。
- 04 クラウド投票ツールを活用し、リモート参加者がリスクについてディスカッション・評価するリモートワークショップを開催する。
- 05 リモートワークによって増加するセキュリティリスクに対して、外部のサービスを活用してネットワーク上で検証・評価するリモート監査を計画・実施する。

監査実施



- 06 被監査施設側で文書を準備、ファイル共有プラットフォーム（シェアポイントや共有ドライブなど）にアップロードしてもらい、監査人が文書をレビューする。
- 07 監査対象者とのビデオ会議で、文書の共有やレビュー、さらに質疑応答などをリアルタイムで行う。
- 08 ライブでのウォークスルー・棚卸立ち合い—現地の人に指示して周りの状況や現物を撮影してもらい、動画や静止画像写真をレビューしてアルバムにまとめる。
- 09 クラウドベースのプロセスマッピングツールとWeb会議と合わせて活用し、被監査部門とプロセスフローのリアルタイム作成・レビュー・アップデート、ウォークスルー等を行う。
- 10 コントロールの実施状況を、データ分析ツールや継続的モニタリングツールを活用してリモートで確認・評価する。
- 11 特にSAPを導入している企業は、プロセスマイニング技術を使ったデータによるプロセスウォークスルー・例外プロセスの分析を行う。
- 12 クラウドベースの内部監査ツールを活用し、被監査部門からの資料依頼・収集や、発見事項・アクションプランの共有・フォローアップをワークフロー化しリモート監査の効率性を高める。
- 13 クラウドベースの内部監査ツールを活用し、監査調書と根拠資料・画像・写真等を自動的にリファレンス・紐付けしリモート監査の効率性を高める。

監査報告



- 14 クラウドベースの内部監査ツールを活用し、データやグラフを駆使したインパクトのあるレポートを作成する。必要に応じて発見事項調書・証跡までリアルタイムでドリルダウンできるペーパーレス監査レポートにて報告する。

その他



- 15 プロティビティの無料Webinar「Teleworkにおけるリスクマネジメントと内部監査」や「リモート環境における内部監査のデジタル化研究セッション」(有料)を活用し、リモート監査で活用できるツールの理解を深める。